日本氷上スポーツ学会第1回研究大会

開催要項

１．趣旨

　日本氷上スポーツ学会は、氷上スポーツの普及・発展に寄与することを目的に2018年に設立されました。

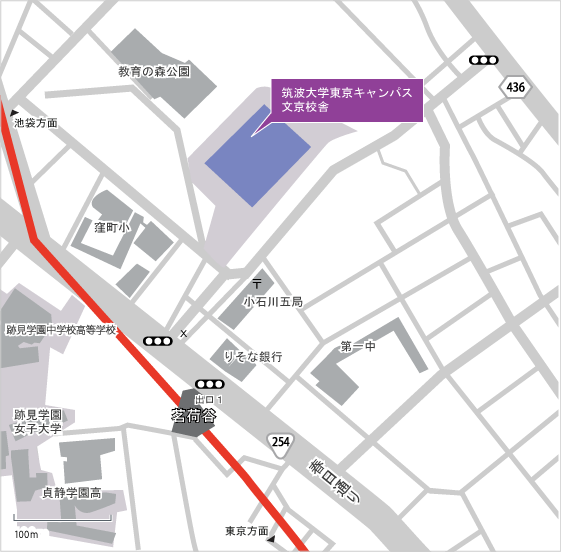
　第1回となるこのたびの研究大会では、講演、一般報告、フォーラムなどを通して氷上スポーツ普及の現状と課題について共有を図り、わたしたちの学会に求められる貢献と活動のあり方を展望します。研究者に限らず、氷上スポーツのさらなる発展に関心のある学生や指導者、競技団体、行政、産業界など、種目・専門・立場の異なる多様な方々の参会を望んでおります。

２．主催

　日本氷上スポーツ学会

３．日時

2019年6月29日（土）13:00～17:30

４．会場

　筑波大学東京キャンパス文京校舎　134教室

〒112-0012　東京都文京区大塚3-29-1

　　　丸の内線《茗荷谷駅》より徒歩約2分

５．参加者

学会員、一般、学生など氷上スポーツに

関心ある方

６．参加費

　①学会員：2,000円

　②学生・大学院生：無料

　③その他：3,000円

　　＊参加費は大会当日、領収証と引き換えに現金にてお預かりします）

７．申し込み

　（１）方法　　　学会サイト《研究大会参加申込フォーム》より　https://jasiss.jp/

　（２）期限　　　6月12日（水）

８．お問い合わせ

電子メールまたはFAXにて以下へお願いします

　　　　日本氷上スポーツ学会事務局　info@jasiss.jp　FAX：（03）6811-0850

９．プログラム

11:00～12:00　　理事会

12:00～12:30　　総会（学会員のみ）

|  |  |
| --- | --- |
| 時　間 | 内　　容 |
| 12:30 | **受付** |
| 13:00 | **開会** |
| 13:05  ～13:45 | **会長講演**　－学生氷上スポーツの発展と当学会への期待―  　日本氷上スポーツ学会会長　小野島真（明治大学） |
| 休憩 | |
| 14:00  ～15:50 | **一般報告**　（報告12 分＋質疑応答5分＋演者交代1分）  ①国内フィギュアスケート選手の外傷・障害発生の状況とその傾向について  　阿部愛（船橋整形外科市川クリニック、日本スケート連盟フィギュア強化部＊）、栃木悠里子（筑波大学、＊）、佐藤謙次（佐藤整形外科、＊）、室井良太（聖マリアンナ医科大学、＊）、渡部賢二（埼玉医療福祉専門学校、＊）、菊地正（v-conditioning studio、＊）、竹内洋輔（法政大学、＊）、鈴木智之（札幌円山整形外科病院、＊）、土屋明弘（船橋整形外科病院、＊）  ②大学スケート研究会30年の活動報告  　針ヶ谷雅子（明治大学）、野口和行（慶應義塾大学）、小森伸一（東京学芸大学）  ③氷上スポーツ学科（スケート・スキー）設立について  　水原元一（ANAグループ）  ④日本におけるスピードスケートの普及形態と課題 －小学校とクラブの結びつきに着目して－　　渡邊瑛季（宇都宮共和大学）  ⑤画像認識技術と機械学習を用いたフィギュアスケートジャンプの回転不足判定予測への試み　　廣澤聖士（慶應義塾大学）  ⑥栄養サポート「食とアミノ酸のコンディショニングについて  　片山美和（味の素株式会社） |
| 休憩 | |
| 16:00  ～17:25 | **フォーラム**　－氷上スポーツの普及に関わる現状と課題－  　　　　　　　　　　　　　　　　　高嶌遥（アイスホッケー女子元日本代表選手）  町田樹（早稲田大学大学院スポーツ科学研究科）  矢島友喜（長野県茅野市役所）  ファシリテーター：坂井寿如（日本氷上スポーツ学会理事） |
| 17:30 | **閉会** |

　　懇親会を18時頃より茗荷谷駅周辺にて行います。会場等詳細は追ってご案内申し上げます。

　　　　（大会参加フォームよりお申し込みいただき、会費は当日頂戴します。）